

遺伝子検査法を採用し、サルモネラ属菌の結果判定が従来の 1/4 の時間で！
短時間で結果判定が可能な「3 M™ 病原菌自動検出システム」
「速く」「正確な」検査を「誰でも簡単に」— 人手不足の解消に寄与する、食品工場の衛生管理対策

スリーエム ジャパン株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：スティーブン・ヴァンダー・ロウ）はこのほど、食中毒菌の検査時間を大幅に短縮できる「3 M™ 病原菌自動検出システム」の販売を開始しました。経験が少ない担当者でも容易に取り扱えるシステムです。

■「HACCP に沿った衛生管理」、実現の課題は効率化

サルモネラ属菌をはじめとした病原菌に由来する食中毒事故が後を絶たない中、食品衛生法が2018年に改正され、原則としてすべての事業者には「HACCP に沿った衛生管理」が求められています。食品工場は新たな管理体制を構築する一方、慢性的な人手不足に陥っており、さらなる効率化が求められています。

食品工場では衛生管理対策として、長らく「培養法」による微生物検査が広く行われてきました。しかし、対象となる菌を目視できるまで培養するために長時間かかること、結果判定には担当者の専門的な知識と経験が不可欠であることから、「誰でも簡単に」実施できる「速く」「正確な」検査方法が求められていました。

■遺伝子検査法と3 Mの技術がもたらす「迅速性」

「3 M™ 病原菌自動検出システム」では遺伝子検査法を採用しています。病原菌がもつ固有の遺伝子（DNA）を測定機器が検出するため、培養法に比べて全体の検査工程が少なく、短時間で結果判定が可能です。

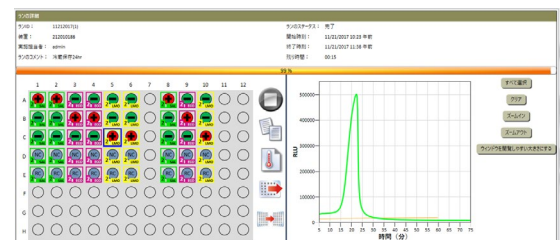
■「正確な」結果判定を、「誰でも簡単に」

あらゆる操作がシンプルなうえ、結果判定はソフトウェアが行うことから人為的なミスをおろそかに排除できます。

国内ではすでに「食品衛生検査指針 微生物編 改訂第2版 2018」に記載されているほか、AOAC OMA（米国）やAFNOR（フランス）などの第三者認証機関の認証を取得しており、妥当性が確認された信頼性の高い試験法として海外でも多くの食品工場で採用されています。



サルモネラ属菌の場合には、「培養法」で要する時間の約4分の1、26時間で判定が可能



結果判定はシステムがデータベースと照合することで正確性を担保、人為的なミスをおろそかに排除できる

「3 M™ 病原菌自動検出システム」は、測定機器と専用 PC を含めたアクセサリーキットで構成されています。メーカー希望小売価格は 240 万円（税別）です。各種病原菌を検出するための試薬や培地（別売）とともに利用します。



検出可能な病原菌
サルモネラ属菌
<i>E.coli</i> O157 (H7 含む)
リステリア モノサイトゲネス
リステリア属菌
カンピロバクター属菌

■ 「人手不足をのりこえ、安全な食品を」

「3 M™ 病原菌自動検出システム」の本格販売開始について、フードセーフティ製品部マーケティング部の平川真理は以下のように語っています。

「多くの食品工場では人手不足が課題となっています。導入いただいた企業からは、誰でも扱える『簡便性』により属人的な能力に頼らない品質管理体制が構築できること、人材育成の負担が軽減されることなどが評価されています。同時に『正確』な結果判定を『迅速』に得られることから、検査結果待ちによる在庫が抑制されます。製品の出荷を早められることにつながり顧客満足の上、さらには倉庫の費用負担の軽減などといったメリットがあったと好評です」

「3 M™ 病原菌自動検出システム」に関するお問い合わせは、
カスタマーコールセンター TEL: 0570-011-321

3 Mは3 M社の商標です。

【3 Mについて】

3 M（本社：米国ミネソタ州）は、Science（サイエンス）を活かし毎日の暮らしをより豊かにすることを目指しています。売上高は 320 億ドルで、9 万 1,000 人の社員が世界中のお客様の課題解決にむけて、創造的なソリューションを提供しています。3 Mに関する詳しい情報は、www.3M.com/ @3M/ @3MNewsroom (Twitter) をご覧ください。また、3 Mジャパングループについては www.mmm.co.jp をご覧ください。